

広島大学 (前期日程)

素点欄に入しないこと

素点番号
素点

I

II

III

平成三十一年度
入学試験問題
解答用紙

国語

国語総合(近代以降の文章)・現代文B

第一問

a	崩壊(崩潰)
b	猶予
c	考究
d	徐々
e	示唆

学校は社会のなかにあるにすぎない (以上二十字)

子供の自覚性を手助けする (以上十五字)

1 人々の共有作法 (以上十文字)

2 人類と日本人が作り上げてきた共有作法についての歴史的展望を得ようとする学問 (以上四十文字)

学校は社会的動物たる人間の活力を涵養する場だが、その活力の源泉である人としての総合性・貫性・誠実性の形成は、徳育を離れた知育や体育の場面に おいても教師が自ら人格的な姿を子供に示すことで行われるはずだから。

問六

教師による知育の実践は無効であるが、徳育として教師はそれに絶望する姿を通して、人生の困難に打ち勝つための孤獨な決断と努力の重要性を示すことができるとい

(以上八十文字)

問七

前に述べたことをより詳細に掘り下げたり部分的に留保したりするものが持つ逆説性をその文体により示唆している。

(以上八十文字)

第二問

「ずい分昔から生きてんだね」と言われたことで今ナラながら気付いた二人の間の年齢の差。

問二

子供の純粋さを取り戻そうとしているような二人の様子から、初恋をやり直そうとしていると感じていたから。

問三
 思い出とはその時の自分だけのものであり、思いを馳せる時には既に何かを失っており、また、今の自分のものでもなく、これから先の自分に新たなものをもたらすきっかけになるとも思っていないから。

問四
 二人は、子

問五
 大人でありながら自分の子供っぽさをことさらに否定してみせること自体が子供じみていると感じられたから。

問六
 母の幼なじみで年上の存在だと思っていた作並が、だんいおやじと言われ自分自身もださいと感じ情けないと思うと涙がでてきたが、同時にいとおしいとも思うようになった。

第三問

問一
 オレンジ色のワンピースを着た五、六歳の女の子の、筆者の目の前を素早く通り過ぎていく様子。

問二
 母親自ら自動車を横断する娘を制止するはずなのに、自動車にはねられて死体になる具体的なイメージを彼女に告げたから。

問三
 1 娘が死体になる具体的なイメージを母親から告げること、その娘に死の危険と恐怖を増幅させ、たまたま道路を横断する意欲を無くさせたから。

2 深謀遠慮

問四
 イ

問五
 親が子供を心配することを演ずる役柄と強調すること、親が子供を心配するのが当たり前だとする常識への疑義を示す意図。

問六

禁	止	さ	れ	た	り	懇	願	さ	れ	た	り	す	る	と	余	計	に	危	険	な	行	為	を	し			
に	対	し	る	責	任	や	心	配	を	負	わ	せ	る	こ	と	で	、	子	供	自	身	に	自	己	の	生	死
方	法	を	、	ユ	ー	モ	ラ	ス	に	わ	か	り	や	す	く	読	者	に	伝	え	る	効	果	。			

(以上百字)